



学校教育目標「ふるさとを愛し心豊かでたくましい西っ子の育成」

令和3年度 めざす学校像 自分の言葉でつながる西日登小学校

6名の卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます。

皆さんの卒業を前にして、久しぶりにこれまでの学校文集「くすのき」を開いてみました。

【卒業生さんが1年生のとき】

いよいよスタート！



チャレンジタイムでのロードレースや縄跳び大会（8の字とび）が思い出に残ったようです。回数を重ねるにつれとんだ回数が増えていく楽しさやできなかったことが友だちの応援や家族の励ましでできるようになったことが嬉しかったようですね。

また、校庭を3周走るチャレンジタイムでもゴールをめざして走り切る達成感も大いに感じたことでしょう。このロードレースに対してはご家族はじめ地域の皆様の声援が、子どもたちの背中を押していることと思います。

50年近く続いているとお聞きしているロードレース大会への取組をとおり、子どもたちは挑戦する心を学んだことでしょう。

【卒業生さんが2年生のとき】

焼き芋パーティーのことを文集に載せた子どもがいました。このころは、幼稚園児さんもおられ、いっしょに焼き芋をつくって食べたようです。自分たちがつくったさつまいもの味は

格別のおいしさにつながりますね。地域の皆様には、焼き芋はじめ、そばづくり、夏野菜づくり、高津公園の梅取り等、たいへんお世話になりました。子どもたちは地域の自然にふれ、地域の方々の温かい気持ちに接することができる「ふるさと学習」に親しむことができました。



うわあ。茎が長い。

【卒業生さんが3年生のとき】

みんなで協力して活動したりがんばったりしたことがあると1ポイント貯まる「ほっこり（学級独自の頑張りポイント）」が300ポイント貯まったようです。目に見える形でポイントが少しずつたまっていくと、子どもたちはもっと頑張ろう、次も頑張ろうというようにやる気をどんどん出したのではないかと考えています。

学校は、お互いに協力することを学ぶ場です。1つのものごとに対して自分ができるところを考えたり相手の立場にたって考えたりする経験を、卒業生はこれまでにたくさんしてきました。



たこ焼きパーティーだ。

やっとたまった。
ほっこり300



【卒業生さんが4年生のとき】



全員で花笛演奏をしました。

4年生3学期3月より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、その防止対策をしながら学校生活を送ることになりました。

【卒業生さんが5年生のとき】

サンレイクでの宿泊研修が大きな思い出になったようです。1泊2日の研修ですが子どもたちにとって親元を離れて友だちと1泊するのはうきうきする楽しい活動です。帰路では「もう1泊したい」という声も聞かれるほど楽しい活動でした。サバニに乗ったりカレーライスを作ったりする活動は、すべて友だちと力を合わせないとできない活動です。学校を離れても友だちと協力して活動することの大切さや達成感を大いに感じた研修だったと思います。また、卒業生が4年生の3月より新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにマスクの着用生活が始まりました。「3密防止、マスクの着用、手洗い、検温」とこのころからずっと注意して生活してきました。突然の臨休や学校行事の中止で残念な気持ちを抱くこともありました。これまでのあたりまえが、あたりまえでなくなったのは2年前からですね。子どもたちの生活にも制限がかけられ、我慢する日が続きました。

【卒業生さんが6年生のとき】

思い切って
跳ぶぞ。



にしっ子発表会では、「ヤマタノオロチ伝説」について分かったことや思ったことを発表しました。役になり切ることの大切さを学び、なり切るためには何をしたらいいのか考えました。

そのことを声の大きさや抑揚、調子や体の動きで具体的に表現することを学びました。「ヤマタノオロチ伝説」の学習も「ふるさと学習」の1つであり地域を巡ったり地域講師さんのお話を聞いたりして「ふるさと西日登」「ふるさと雲南」の秘密やよさにたくさん触れることができました。

にしっ子発表会へもたくさんお出かけくださり子どもたちの学習に理解を示してくださったり表現の工夫に対して声援を送ってくださりありがとうございました。自分たちの活動を見てくださる方がいらっしゃることで、子どもたちはめあてをもってがんばることができるものです。相手意識を育むうえでもお世話になりました。ありがとうございました。



みんなで息を合わせないと
サバニは進まないなあ。



2日間の研修は楽しかったなあ。

この1年間、活動にはいつもめあてをもち、責任をもって取り組み、活動後にはふりかえりながら自分のよさや成長を確かめてきました。最高学年としての自覚も高まり、卒業前の子どもたちはとても大きく見えます。

この西日登小学校での6年間は、登校時から見守り隊さんや地域の方に見守られ、安心して通学することができました。また、自然豊かな環境の中で、高津公園や久の元川に親しんだり、西日登振興会様のご支援のもと、高津公園祭りや敬老祭での発表にも積極的に参加したりしました。学習の中でも多くの地域講師様を迎え、学習にお力添えをしていただきました。この場をお借りしてお礼申しあげます。ありがとうございました。これからも子どもたちが育った西日登を心の支えにして、この地域の「ひと・もの・こと」に感謝しながら中学校生活を楽しんでほしいと思います。

3月8日（火）
5年生の実行委員を中心に頑張った
6年生を送る会

6年生を送る会のテーマ



「6年生を送る会」スタートの会では、5年生4名の実行委員さんが、6年生を送る会をみんなで成功させようという気持ちを伝えました。

「ありがとうの気持ちを伝える、楽しい会にしよう。」

6年生退場の前には、くす玉を割ります。



この会を成功させるために、2年生から5年生全員で、準備をしたいと思います。

私たちといっしょに準備を進めていきます。力を合わせてやりましょう。



5年生4人が中心となって企画運営しました。

6年生を送る会を成功させるためには、みなさんの協力が必要です。みんなで力を合わせて、これから準備をしていきましょう。

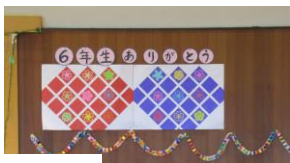


3・4年生は、思い出のアルバム、ふれあいゲーム、プレゼント案内状、会場・くす玉のそれぞれのチームに分かれて、担当しました。

2年生は、看板作りと会場の飾り作り、プレゼント渡しを担当しました。

看板や会場の飾りには、2・3・4年生の子どもたちの「ありがとう」の気持ちが詰まっていました。

毎年のことですが、この6年生を送る会の運営をとおして企画力や実行力を高めることができました。大勢の前で挨拶をしたり、説明をしたりするのは大変ですが、がんばりました。



3・4年生がつくった飾りや花道です。



ふれあいゲームでは、みんなで体を動かし、6年生さんとともに楽しむことができました。



6年生を送る会でのクライマックスシーンです。今年はハプニングが起こりくす玉がやっと割れましたが、垂れ幕の前で記念撮影できました。



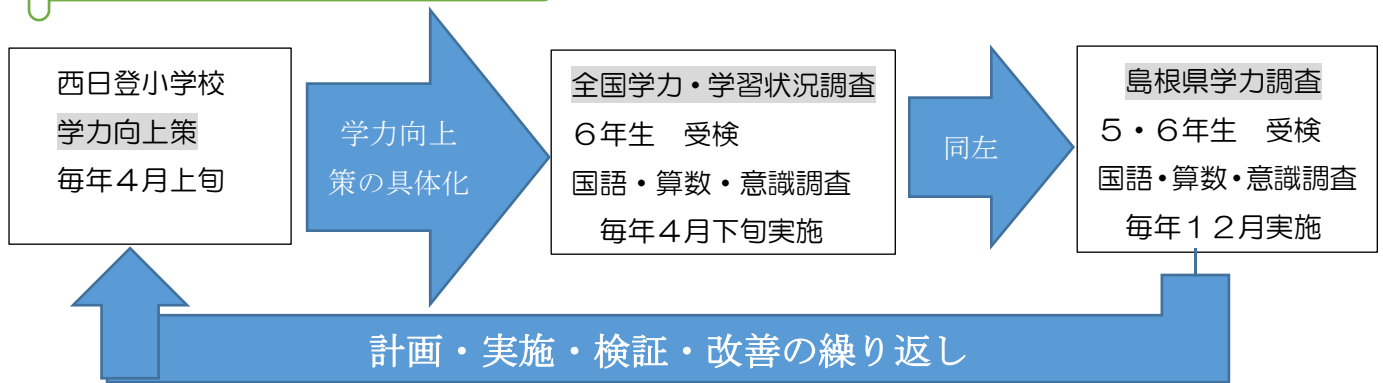
～くす玉メッセージ～
楽しい日々をありがとう
未来へ進みだせ！！

6年生は、最後まで下学年に楽しんでもらおうという気持ちをもって出し物をしました。



令和3年度
学力向上の取組をふりかえって

この学校だよりにおいても、以前から子どもの学力を育成・向上させることが学校教育の根幹であるとお伝えしてきました。



今年度も2つの調査を活用し、本校の学力向上の取組の見直しを図ってきました。

○家庭との連携

タブレットを活用したオンライン
授業の実施



- 基本的な生活習慣の確立（学習・生活がんばり週間の設定）
- 家庭学習の習慣化（家庭学習のきまり）
- 自学への取組
- 臨休時オンライン授業の実施
- デジタルシティズンシップ教育の実施
（メディアと適切にかかわろうとする態度の育成）
- 毎日：タブレット端末の家庭への持ち帰り（調べ学習等への活用）

2月25日からの4日間の臨休期間には、子どもたちの学びを止めないように全学年でオンライン授業を実施しました。

子どもは、各家庭から授業に参加しました。

臨休対応として全学年の子どもがオンライン授業に参加できたことは本校の強みとなりました。

○校内での取組



ロボットをプログラミングしてヤマタノオロチ伝説地を案内しよう。

- めざす学校像へ近づくための
「自分の言葉で考え、書き、発表する習慣づくり、場の設定」
- 週4日の朝読書実施（うち1回は学校図書館での読書）
- 週1日の朝自習（読解力向上のためのプリント学習等）
- 校内研究授業の実施
（子どもの声を引き出し、学習意欲を喚起させる等の授業づくり研修）
- プログラミング教育の推進
- 要約学習の実施（長文読解の一助となるための要約学習 全学年）
- 自学ノートの展示（児童相互の学びの場づくり）
- 複式学級での学びを支える漢字読み学習の取組
（自学年を超えた漢字かな交じり文を読む。「6か年分の漢字読み」合格者は、中学生の熟語に挑戦中）等々

※県学力調査の結果が返ってきました。この結果をもとに今後も継続して取り組んでいきたい本校の取組は、以下のとおりです。

国語科：語彙を増やすための読書習慣の形成、叙述に沿った読解指導、要約学習

算数科：計算習熟のための計算反復練習、問題文を捉え、図・式で解決しようとする態度の育成